

令和4年5月17日
山梨県観光文化部観光文化政策課
課長 樋田 洋樹
電話 055-223-1556(内線 4100)

報道関係者各位

令和4年ゴールデンウィーク

県内の主な観光施設等の観光客の状況について

～ 期間中の観光客数103万4千人、1日あたり前年の1.8倍 ～

県では、今後の観光振興施策や観光事業関係者の事業展開の参考資料とするため、ゴールデンウィーク期間中に県内の主な観光施設等を訪れた観光客の状況について、各観光施設等へ調査を行いました。調査対象となる観光施設等(69地点)を訪れた観光客数は、延べ約103万4千人でした。1日当たりでは約10万3千人となり、前年の1.8倍となりました。

今年は、令和2年から始まった新型コロナウイルスの流行以降、3年ぶりとなる行動制限のないゴールデンウィークであったことから、旅行者の観光需要が高まり、前年比では観光客数が増加しました。

一方で、コロナ禍前の令和元年(平成31年)に比べると観光客数(1日あたり)は43.0%減少しています。

【令和4年と令和3年の比較】

項目	令和4年度	令和3年度	増減
調査地点数	69地点	66地点	+3地点※
調査期間	令和4年4月29日(金)から 令和4年5月8日(日)まで	令和3年4月24日(土)から 令和3年5月5日(水)まで	-2日
調査日数	10日間	12日間	
観光客数 (期間全体)	103万4千人	68万8千人	+34万6千人 (+150.4%)
観光客数 (1日あたり)	10万3千人	5万7千人	+4万6千人 (+180.4%)

※ 例年実施してきた調査との調査地点数の整合を図る観点から、調査地点数を追加しました。

【令和4年と令和元年(平成31年)の比較】

項目	令和4年	令和元年(平成31年)	増減
調査地点数	69地点	69地点	なし
調査期間	令和4年4月29日(金)から 令和4年5月8日(日)まで	平成31年4月27日(土)から 令和元年5月6日(月)まで	なし
調査日数	10日間	10日間	
観光客数 (期間全体)	103万4千人	181万3千人	-77万9千人 (-43.0%)
観光客数 (1日あたり)	10万3千人	18万1千人	-7万8千人 (-43.0%)

各圏域別の状況

※個別の数値は別添資料参照

【峡 中】

- 峡中圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日あたり前年の2.15倍となりました。
- 「正の木祭り」は、今年は遊亀公園がリニューアルされ、3年ぶりに露店営業が行われたことから、多くの観光客が来場しました。また、甲府市立動物園でも、正の木祭りが開催された影響により、動物園の入園者数が大幅に増加しました。
- 「山梨県立愛宕山こどもの国」では、リニューアル工事のため自由広場（遊具）とキャンプ場が利用できなかったことから、利用者は大幅に減少しました。

【峡 東】

- 峡東圏域所在の対象施設に係る観光客数は、1日あたり前年の1.37倍となりました。
- 「県立博物館」では、昨年度に開館15周年記念特別展「生誕500年 武田信玄の生涯」を催していたこともあり、前年と比較すると来場者は減少しました。
- 「大菩薩の湯」では、3密回避のため入館規制を行っていたものの、日によってはゴールデンウィーク前の水準まで利用者が回復しました。

【峡 南】

- 峡南圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日あたり前年の1.76倍となりました。
- 「道の駅とみざわ」、「つくたべかん」は、中部横断自動車道の全線開通に伴う影響もあり、観光客数は増加しました。

【峡 北】

- 峡北圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日あたり前年の1.64倍となりました。
- 「山梨県フラワーセンター(ハイジの村)」は、催行するツアーが多かったことから来場者数が増加しました。

【富士・東部】

- 富士・東部圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日あたり前年の1.90倍となりました。
- 「紅富士の湯」では、山中湖への観光客が多く立ち寄り、利用者数が増加しました。
- 「新倉山浅間公園」では、連休始めに天候が崩れたこともあり、昨年と比較すると観光客数が減少しました。

備考

- ・ 観光客数とは、県内の主要な観光施設等から報告のあった客数を合計したものです。